

Makuhari's Memory

アカデミーでの想い出

一生勉強！一生青春！

東京オリンピックの開幕迫る7月5日から9日までの5日間、『使用料等の債権回収』について学ぶべく全国から24名の自治体職員がここ市町村アカデミーに集まりました。

現在、私は税務徴収課という市税の賦課と徴収を扱う部署に所属していますが、租税法律主義（租税条例主義）という言葉があるように租税の賦課徴収には、その根拠となる法律（条例）が必要であり、業務にあたる上では、このほか政令、省令、通達などにその根拠を求めていかなければなりません。これらの根拠探訪の日々はとても楽しいものでしたが、税理士試験合格後も私の心は満たされることはなく、「水道使用料、公営住宅家賃、保育料といった税外収入についても、その債権の管理や回収の手続を知りたい」むしろ、悶々とした思いを抱きながら過ごしていました。そんなある日、ふと目にした市町村アカデミーの研修案内の中に『使用料等の債権回収』の文字を見つけたときは、あまりの感動に夜も眠れなかったことを思い出します。

自身にとって、自治大学校以来の中央研修機関での研修でしたが、講師陣も同様に一流の学識経験者や第一線で活躍するスペシャリストの先生方であり、豊富な実務経験に裏打ちされた講義は刺激的で興味深く学ぶことができました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止

のため、懇親会の開催はなく、研修生同士の交流といった点では、さすがにその少なさは否めませんでしたが、課題演習では、和気藹々とグループ討議を行い、また、他の班の教室にもお邪魔して情報交換をするなど交流を深めることができました。

最後になりますが、この研修を担当していただいた栗原准教授、照井主査、そして、一緒に学んだA班の皆様をはじめ同期の研修生の皆様、大変お世話になりました。「一生勉強、一生青春」、またこの市町村アカデミーでお会いできることを楽しみにしております。



檜山 洋二

茨城県常陸大宮市
市民生活部税務徴収課
市民税G課長補佐
(受講研修科目)
使用料等の債権回収
第35期第1組（令和3年度）

「住民との合意形成に向けたファシリテーションの実践」研修に参加して

近年、住民協働というキーワードで、住民と一緒に地域課題を解決しようとする動きが全国的に活発化している中、昨年度から新たに始まった「住民との合意形成に向けたファシリテーションの実践」に参加しました。

私は企画部マネジメント推進課で、施設の施策などに携わっており、特に住民との合意形成が必要であると考えている公共施設等総合管理計画に基づく「施設の再編や統廃合」について、他の自治体の先進事例や合意形成を得るためのワークショップの進め方について学ぶことが目的でした。

この研修は、「実践」という言葉が研修名に入っている通り、多くの時間をワークショップの企画や準備、そして発表の時間に充てられており、すぐに業務へ活かすことができる内容でした。講義では、先進事例を中心に具体的な手法を交えて解説いただき、特に講師の経験された合意形成に至るまでの体験談は心に残る内容でした。

新型コロナウイルス感染症対策が引き続き行われる中、限られた時間ではありましたが、全国から集まった自治体の仲間同士で情報交換し、親睦も深めることもでき、大変充実した時間を過ごすことができました。

最後になりますが、講師の皆様、市町村職員中央研修所の皆様のおかげで、安心できる環境で、5日間の研修を無事修了できたことをこの場をお借りしてお礼を申し上げます。



池島 秀起

兵庫県芦屋市
企画部マネジメント推進課技師
(受講研修科目)
住民との合意形成に向けたファシリテーションの実践
第35期第1組（令和3年度）

Makuhari's Memory

アカデミーでの想い出

素晴らしい仲間との出会いに感謝

私はこの度、「住民行政事務能力の向上」を受講いたしました。コロナ禍のため直前まで、研修を受講できるかどうか分からぬ状況でしたが、参加させていただくことができて本当に良かったと実感しています。

今回の研修は、座学とグループ演習があり、座学では最新の住基システムの国の動向や、実務の経験談等を交えて分かりやすく講義していただきました。また、他自治体の優良事例やマニュアルなど、貴重な資料を豊富にご準備いただき、それらは非常に参考になる内容ばかりでした。

次にグループ演習では、班員が実際に現場で起きている問題や悩みを互いに共有し、どうしたらより良い住民サービスとなるか解決策を真剣に話し合うことができました。限られた時間の中で、資料にまとめる作業が深夜まで及び日もありましたが、班員全員で協力して自分たちの考えを発表することができ、非常に大きな達成感を味わうことができました。

この素晴らしい経験ができたのは、熱心に講義や

助言をしてくださった講師の方々、また、スムーズな進行や快適な研修生活が送れるよう、5日間に渡って細やかにサポートいただいたアカデミーの皆様のお陰です。この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

また、今回の研修で全国から集まった素晴らしい仲間と出会えたことは、私にとって一番の財産となりました。充実した5日間を共に過ごした仲間として、この縁を大切にし、今後も親交を深めていきたいです。



中川 和彦

広島県東広島市
生活環境部市民課窓口係主任
〈受講研修科目〉
住民行政事務能力の向上
第35期第1組

ウェルビーイングな5日間

令和3年7月12日から16日までの5日間、「地域ビジネスによる地域経済の活性化」を受講しました。

当初は、長期間の研修ということもあり、業務が滞ることを懸念しながらの参加でしたが、初回の講義が始まると、この考えが一変しました。これは仕事をしている場合ではないと。

これまで受講してきたどの研修よりも感銘を受け、自身の在り方を深く考え、そして業務への意欲を掻き立てられ続けた5日間のプログラムでした。

講師の方々は、各地で地域経済の活性化に取り組み、地域を盛り上げていこうと動いている方ばかりで、実体験を交えての講義に日々刺激を受けるとともに、自身の業務を進めるうえでの指針を得ることができました。

また、講義後の課題演習では、班の皆様がそれぞれ問題意識や想いを有していることもあり、出会ったばかりとは思えないほど、活発かつ積極的な意見交換が日々繰り広げられ、最良の提案書を生み出すことができました。テーマの舞台となつた瀬戸内市様での提案が実現し、班員全員で手

伝いに伺えることを楽しみにしております。

最後に、緊急事態宣言等が発令される中、我々の安全を考慮し、研修に集中できるよう尽力してくださったアカデミーの皆様、ご登壇くださった講師の方々、快く送り出してくれた職場の皆様に厚く御礼を申し上げます。そして、共に濃密な時間を過ごした受講生の皆様、この状況の中で、千葉市へお越しください本当にありがとうございました。

※写真は、講義での事例に登場した方のような、活き活き感を演出してみました。



常泉 敬亮

千葉県千葉市
経済農政局農政部農政課主任主事
〈受講研修科目〉
地域ビジネスによる地域経済の活性化
第35期第1組